授業科目　介護におけるコミュニケーションII

【担当教員名】	対象学年	1	対象学科	社会（介護福祉コース必修）
星　紀恵子	開講時期	後期	必修選択	選択
	単位数	1	時間数	30

【カリキュラムポリシーとの関連性】

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	○	○	◎

【概要・一般目標：GIO】
介護を必要とする者の理解や援助的関係、援助的コミュニケーションについて理解し、利用者や利用者家族あるいは他職種協働におけるコミュニケーション能力を身につける。

【学習目標・行動目標：SBO】
1　感覚機能、運動機能、認知機能、知覚機能が低下している利用者の状態を理解することができる。
2　介護におけるチームのコミュニケーションに必要な記録や報告書等について学び、その技法を習得することができる。

回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	コミュニケーション障害とは	1	演習、担当：星　紀恵子
2	障害のある利用者への対応の視点	1	演習、担当：星　紀恵子
3	高次機能障害・失語症・構音障害に応じたコミュニケーション技法	1	演習、担当：星　紀恵子
4	認知症に応じたコミュニケーション技法	1	演習、担当：星　紀恵子
5	若年認知症に応じたコミュニケーション技法	1	演習、担当：星　紀恵子
6	視覚障害・聴覚障害に応じたコミュニケーション技法	1	演習、担当：星　紀恵子
7	知的障害に応じたコミュニケーション技法	1	演習、担当：星　紀恵子
8	精神障害に応じたコミュニケーション技法	1	演習、担当：星　紀恵子
9	チームのコミュニケーションとその方法	2	演習、担当：星　紀恵子
10	介護における記録の意義と目的と種類	2	演習、担当：星　紀恵子
11	記録の書き方と留意点	2	演習、担当：星　紀恵子
12	記録の活用と保護と管理	2	演習、担当：星　紀恵子
13	「報告」「連絡」「相談」の意義と目的	2	演習、担当：星　紀恵子
14	会議の意義・目的・方法・留意点	2	演習、担当：星　紀恵子
15	まとめ	1.2	担当：星　紀恵子

【使用図書】	＜書名＞　＜著者名＞　＜発行所＞　＜発行年・価格 他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	
参考書	
その他の資料	

【評価方法】
試験・レポート・出席状況・授業態度等で総合的に評価する。

【履修上の留意点】
グループ討議では、積極的に発言すること。